

繊維学部 新入生保護者説明会 進行次第

(H26年度)

<配布物>

- 繊維学部新入生保護者説明会 進行次第
- スライド資料
- メールアドレス情報登録について
- SVBL (サライト・パンチャ・ビズネスク・ラボラトリ) パンフレット
- 新入生保護者説明会アンケート
- 信大ボールペン

<演奏>

信州大学交響楽団

<次第>

(司会) 下坂 誠 評議員

1. 開会
2. 繊維学部の概要について (濱田州博 繊維学部長)
3. 繊維学部の英語教育について (平林公男 繊維学部副学部長)
4. 千曲会について (石坂征洋 千曲会専務理事 (兼事務局長))
5. 閉会

会 場：南校舎1階12講義室 13:30~14:30

(裏面もご覧ください)

(本日の日程)

13:30~16:00 新入生系別ガイダンス

繊維・感性工学系56講義室(第2講義棟1階)

機械・ロボット学系62講義室(第2講義棟2階)

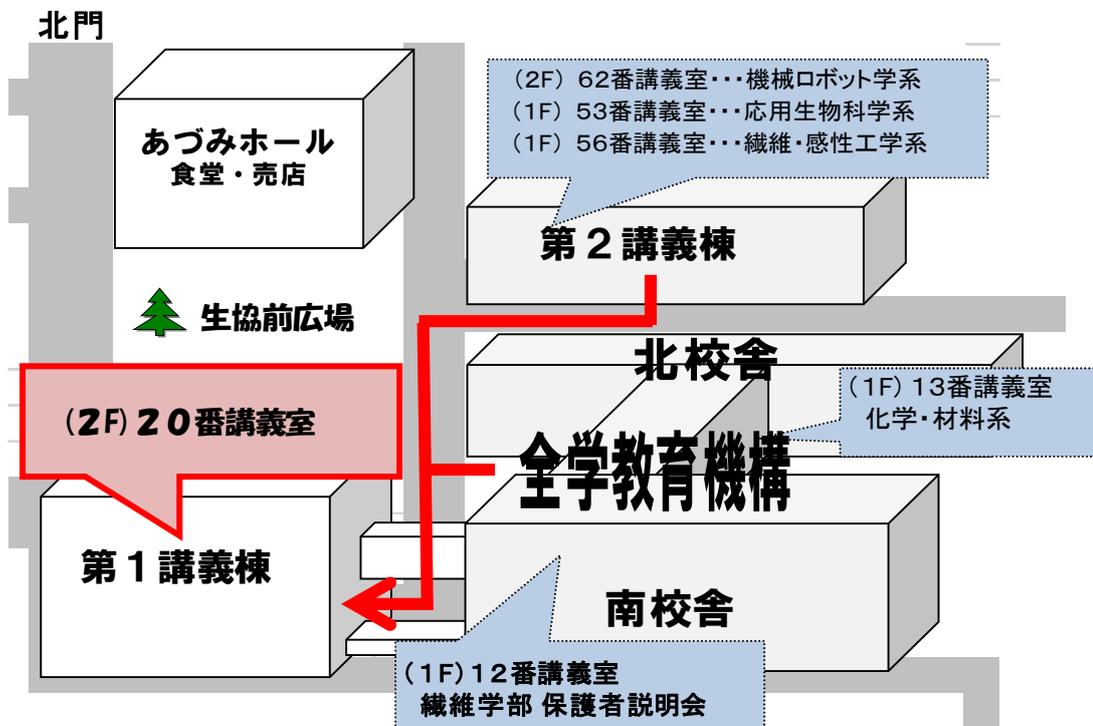
化学・材料系13講義室(南校舎1階)

応用生物科学系53講義室(第2講義棟1階)

16:15~17:25 繊維学部新入生全体ガイダンス(第1講義棟20番講義室)※

※「繊維学部新入生全体ガイダンス」は会場の都合上、新入生本人のみの出席とさせていただきますので、ご了承ください。

【新入生ガイダンス会場】



信州大学繊維学部 — 教育・研究等に関する説明 —

信州大学繊維学部
濱田州博

ご入学
おめでとうございます
ございます

平成26年4月4日
入学式:保護者説明会



繊維学部の体制

信州大学について



信州大学の構成人員(平成25年度)

教員合計: 1,047名
教授: 349名
准教授: 308名
専任講師: 82名
助教: 304名
助手: 4名
職員合計: 1,318名

学生合計: 11,232名
学部: 9,264名
修士課程: 1,445名
博士課程: 480名
専門職大学院: 43名

繊維学部は
学部: 1,220名(13.2%)
修士: 401名(27.8%)

理・工・農・繊維で
学部: 5,080名(54.8%)
修士: 1,252名(86.6%)
博士: 215名(44.8%)

信州大学繊維学部の歴史

— 蚕糸から繊維、そしてファイバーへ —



明治43年(1910年)

昭和19年(1944年)

昭和24年(1949年)

上田蚕糸専門学校

上田繊維専門学校

信州大学繊維学部

1964 大学院繊維学研究科(修士課程)設置

1991 大学院工学系研究科(博士課程)設置

2005 大学院総合工学系研究科(博士課程)に改組

2012 大学院理工学系研究科(修士課程)に改組

大学院理工学系研究科(修士課程)

大学院総合工学系研究科(博士課程)

平成24年度入学生からの系・課程



信州大学大学院理工学系研究科(修士課程)

松本キャンパス
(理学部)



数理・自然情報科学専攻
物質基礎科学専攻
地球生物圏科学専攻

3専攻

長野キャンパス
(工学部)



機械システム工学専攻
電気電子工学専攻
土木工学専攻
建築学専攻
物質工学専攻
情報工学専攻
環境機能工学専攻

7専攻

上田キャンパス
(繊維学部)



繊維・感性工学専攻
機械・ロボット学専攻
化学・材料専攻
応用生物科学専攻

4専攻

信州大学大学院総合工学系研究科(博士課程) (理学部・工学部・農学部・繊維学部)

生命機能・ファイバー工学専攻

システム開発工学専攻
物質創成科学専攻
山岳地域環境科学専攻
生物・食料科学専攻



- 生物機能科学講座
- ファイバー機能工学講座
- スマート材料工学講座
- 感性生産システム工学講座
- 先端素材工学講座
(連携講座)
- スマートデバイス産業技術
総合研究所連携講座
(連携講座)

学部から大学院までの組織構成

系	課程	1年次	2年次	3年次	4年次	大学院 修士課程	大学院 博士課程
繊維・感性工学系	先進繊維工学課程					繊維・感性工学専攻	総合工学系 研究科
	感性工学課程						
機械・ロボット学系	機能機械学課程	系として教育				機械・ロボット学専攻	
	バイオエンジニアリング課程						
化学・材料系	応用化学課程	系として教育				化学・材料専攻	生命機能・ファイバー工学専攻 他
	材料化学工学課程						
	機能高分子学課程						
応用生物科学系	生物機能科学課程	系として教育				応用生物科学専攻	
	生物資源・環境科学課程						

繊維学部の研究 -ファイバー工学とは-



繊維学部の研究分野

繊維・感性工学分野
ハイパフォーマンス繊維・繊維製品等の感覚計測・新規繊維集合体開発・分光計測・快適性センサ・風合い評価・対話型アパレル製品設計・ユーザビリティ評価・温熱快適性
23教員

機械・ロボット学分野
ナノファイバー製造装置・超伝導機械システム・ナノコンポジット・スマート材料・手拵ぎロボット・メカトロニクス・生体と融合したロボットスーツ
18教員

化学・材料分野
機能性繊維・医用高分子・液晶・太陽電池・燃料電池・テバイス・無機ファイバー・インクジェットインク・光ファイバー・炭素材料・化学発光・ゲル材料・ナノ粒子・アクチュエーター・分離膜
38教員

応用生物科学分野
遺伝子組換えによる蚕からのクモ糸生成・有用物質の微生物生産・未利用微生物利用・哺乳動物資源の有効利用・新繊維素材としての水生昆虫類の活用・天然素材の活用
20教員

Shinshu University

繊維学部の研究キーワード



繊維・ファイバーの工学分野の広がり

- 産業的な広がり** → 衣料材料だけでなく、素材として建築・土木、航空機などの輸送体、電気・電子材料、メディカルなど広範囲な産業分野で活用
- 学問上の広がり** → ナノファイバー化、複合材料化や未利用物質のファイバー化による研究範囲の拡大
- 次世代への広がり** → テキスタイルにコンピューター機能やセンサー機能を織り込むエレクトロテキスタイルに代表されるスマートテキスタイル(インテリジェントファイバー)への拡大



インテリジェントテキスタイルの概念

社会の変化を背景とした新しいニーズ

繊維技術

紡糸、紡績、織布、編布、染色、機能加工、複合化、縫製など繊維が培ってきた技術

インテリジェントテキスタイル

社会や産業界が求めている新しいニーズに対応するため、繊維技術と異分野技術を融合することにより必要な高次元の技術を提供する素材や製品

高次元の機能

- ◇ファイバー状の構造体で、外の環境変化に対し、形状や性質を変化させる
- ◇環境(外界)に対して反応し、情報を伝達したりエネルギーを発生させたいとする

異分野技術

センサー・計測、電気電子、エネルギー、新素材、精密加工、情報処理、通信・リモートメカトロニクス、オプトロニクス、医学など異分野の多様な技術

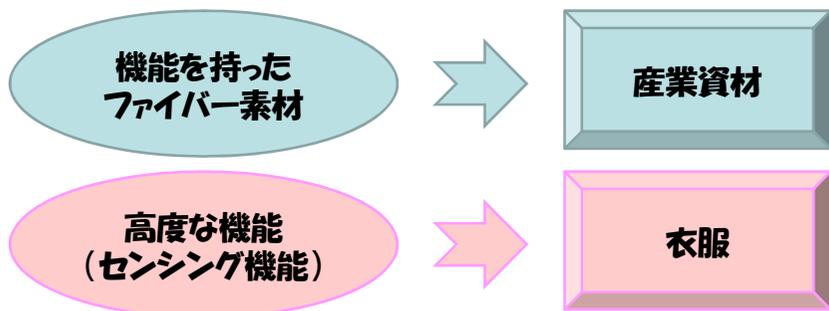


インテリジェントテキスタイル



匠の技術と先端技術の融合

研究の進路



- ◆ファイバーの持つポテンシャル、ファイバーだからこそできるものをしっかりと考え、ファイバーの未来を考えていかなければならない。
- ◆ファイバー工学を経糸に、様々な異分野を緯糸にして進んでいけば、他の学部にはないユニークな教育研究が行える繊維学部となる。

繊維学部の就職 — 就職への対応等 —

繊維学部の就職状況

- **繊維学部の就職率は高い**
先輩の実績、共同研究による企業とのつながり、教員による緻密な指導学生の意識、大学院生の割合の高さ
- **就職の難易度と分野**
繊維学部には、9課程あるが、生物系、化学系、機械系、繊維・感性系で難易度は異なる
- **就職先**
化学、機械・自動車、電気・電子、情報、繊維、生物(食品)
- **大学院進学**
専門性の強化、研究室での情報共有、企業からの研究者との接触
- **継続的な企業との関係構築**
毎年1名ずつの学生を採用いただける企業の確保

学部卒業生の進路(平成26年3月卒業)

課程名	①卒業 人数	②進学者数		③就職 希望者数 合計	④就職 内定者数		⑤その他 合計	進路 内定率
		合計	%		合計	%		
先進繊維工学	27	17	63	10	10	100	0	100
感性工学	36	23	64	12	12	100	1	97
機能機械学	30	21	70	9	9	100	0	100
バイオエンジニアリング	16	13	81	3	3	100	0	100
応用化学	42	29	69	10	10	100	3	93
材料化学工学	30	26	87	3	3	100	1	97
機能高分子学	42	31	74	11	11	100	0	100
生物機能科学	26	17	65	9	9	100	0	100
生物資源・環境科学	27	11	41	14	14	100	2	93
合計	276	188	68	81	81	100	7	97

修士課程修了生の進路(平成26年3月修了)

学科名	①卒業	②進学者数		③就職 希望者数	④就職 内定者数		⑤そ の他	進路 内定 率
	人数	合計	%	合計	合計	%	合計	
先進繊維工学コース	20	2	10	18	18	100	0	100
感性工学コース	24	2	8	21	20	95	1	92
機械・ロボット学専攻	41	0	0	39	39	100	2	95
応用化学コース	22	0	0	19	19	100	3	86
材料化学工学コース	27	1	4	26	26	100	0	100
機能高分子学コース	33	2	6	30	30	100	1	97
応用生物学専攻	29	0	0	28	28	100	1	97
合計	196	7	4	181	180	99	8	96

就職先企業等(例)

先進繊維工学(修士)

KBセーレン(株)
トヨタ自動車(株)
(財)ポーケン品質評価機構
東I(株)
(株)ゴールドウイン
(株)小糸製作所
(株)AOKI
大垣扶桑紡績(株)
(財)カケンテストセンター
(株)フジクラ
(株)東海理化電機製作所
東芝ITコントロールシステム(株)
(株)ジーテクト
ダイワポウポリテック(株)
東L(株)
豊田紡織(株)
クラL(株)

機能高分子学(修士)

関西ペイント(株)
積水化学工業(株)
花王(株)
アツギ(株)
積水化学工業(株)
エスケー化研(株)
日本カーバイド工業(株)
東洋紡(株)
グンゼ(株)
三菱レイヨン(株)
日本特殊陶業(株)
リンテック(株)
東洋インキ(株)
セーレン(株)
三菱ガス化学(株)
大日本印刷(株)
(株)東芝

繊維学部の入試 —平成26年度結果—

平成26年度入試結果

系・課程		募集 人員	志願者 数	受験者 数	合格者 数	実質 倍率	入学者数 ()は女性
繊維・感性 工学	先進繊維工学	30	135	90	38	2.37	33 (15)
	感性工学	30	97	80	39	2.05	32 (12)
	小計	60	232	170	77	2.21	66 (27)
機械・ロボット学		55	308	188	64	2.94	56 (5)
化学・材料		110	387	277	123	2.25	116 (30)
応用生物学		50	378	249	59	4.22	50 (22)
合計		275	1305	884	323	2.74	287 (84)

女性割合:29.3%

平成26年度都道府県別入学者数①

県名等	志願者数	入学者数
北海道	22	10
青森県	5	3
岩手県	1	0
宮城県	9	1
秋田県	5	4
山形県	1	0
福島県	9	3
茨城県	25	3
栃木県	19	5
群馬県	24	6
埼玉県	59	9
千葉県	52	11

県名等	志願者数	入学者数
東京都	51	10
神奈川県	49	4
新潟県	25	5
富山県	17	2
石川県	21	5
福井県	7	0
山梨県	35	6
長野県	279	61
岐阜県	33	7
静岡県	89	22
愛知県	178	47
三重県	28	5

平成26年度都道府県別入学者数②

県名等	志願者数	入学者数
滋賀県	19	4
京都府	37	5
大阪府	48	11
兵庫県	46	10
奈良県	14	3
和歌山県	12	1
鳥取県	11	5
島根県	1	0
岡山県	4	0
広島県	2	0
山口県	3	0
徳島県	2	1

県名等	志願者数	入学者数
香川県	5	0
愛媛県	5	2
高知県	4	0
福岡県	5	1
佐賀県	1	0
長崎県	4	3
熊本県	2	2
大分県	2	1
宮崎県	2	1
鹿児島県	1	1
沖縄県	9	2
その他	23	5

繊維学部の連携 — 国際連携等 —

信州大学繊維学部 学術交流協定校・機関一覧 「ファイバー工学国際ネットワーク」

欧州繊維系大学連合 (AUTEX) 2012年6月加盟

● 繊維系四大学間研究協力機構 (グローバルセンター設置)



AUTEX

欧州繊維系大学が連携して教育を行う博士前期課程システム

- ・メンバーの大学3か所で1セメスターずつ講義を行う
(10人の一流教員がそれぞれ1週間の集中講義)
- ・最後の1セメスターは、学生の希望の研究室で研究を行う

MEMBERSHIP

Albania: Polytechnic University of Tirana
 Belgium: Universiteit Gent
 Croatia: University of Zagreb
 Czech Republic: Technical University of Liberec
 Finland: Tampere University of Technology
 France: ENSAIT, Roubaix
 France: ENSISA, Mulhouse
 Germany: RWTH Aachen
 Germany: TU Dresden
 Greece: TEI Piraeus
 Italy: Politecnico di Torino
 Lithuania: Kaunas University of Technology
 The Netherlands: University of Twente
 Poland: Technical University of Lodz
 Poland: University of Bielsko-Biala
 Portugal: University of Minho

Portugal: Universidade da Beira Interior
 Romania: "Gheorghe Asachi" Technical University of Iasi
 Serbia: University of Belgrade
 Slovenia: University of Maribor
 Slovenia: University of Ljubljana
 Spain: UPC Barcelona
 Sweden: University of Borås
 Turkey: Ege University, Izmir
 Turkey: Istanbul Technical University
 Turkey: Uludag University, Bursa
 Ukraine: Kiev National University
 United Kingdom: University of Manchester
 United Kingdom: Heriot Watt University, Scotland
 United States: North Carolina State University, College of Textiles
 China: Donghua University, Shanghai

海外フランチの実績



- 1996: ノースカロライナ州立大学と連携協定締結
- 1999: マンチェスター大学と連携協定締結
- 1999: 香港理工科大学と連携協定締結

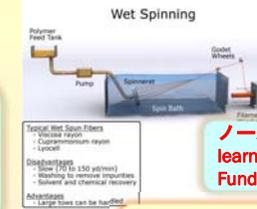
1999より、ノースカロライナ州立大学、マンチェスター大学、信州大学の3大学で2年に1回持ち回りで3種国際会議および連携に関する打ち合わせを実施

2010: 上記3大学に香港理工科大学を加え、4大学によるグローバルセンター設置に関するMOUを締結(各大学にオフィスを設ける)

3大学の学部長にGOOEの国際評価委員を委嘱

- ・ノースカロライナ州立大学で2名の学生がPhD取得
- ・マンチェスター大学へ1名の学生が長期留学
- ・香港理工科大学と交換留学生の情報交換

4大学で2年に1回、持ち回りで国際会議(Future Textile)開催を予定(2010 1回目を信大で開催)



ノースカロライナ州立大学とe-learning教材を開発中 (Textile Fundamentals)

欧州26繊維系大学が連携した博士前期課程教育プログラム (AU-TEX)に加盟申請

ENSAIT (仏) とダブルデグリー実施 (フランスの学生2名修了、信大の学生1名派遣予定)

ファイバーイノベーション・インキュベーター施設 Fiber Innovation Incubator **Fii**

Fiiは、経済産業省・平成21年度地域企業立地促進等共用施設整備費補助金事業の支援により整備。

2011年2月末に竣工し、2011年4月より運用開始。

6階建て総床面積は、4,827 m²。



繊維学部の連携
一産学官連携、国際連携など

上田キャンパス建物配置図



Fii施設について

Fiiは、共用スペースとプロジェクトスペースから構成されています。総床面積は、**4,827 m²**です。プロジェクトスペースのレンタル料は、**1ヶ月1 m²あたり2,100円**です。



人工気象室





最近の取組

上田キャンパス建物改修等

機能機械学棟
H25改修済

体育館
H25改修済

サークル棟
H24新設

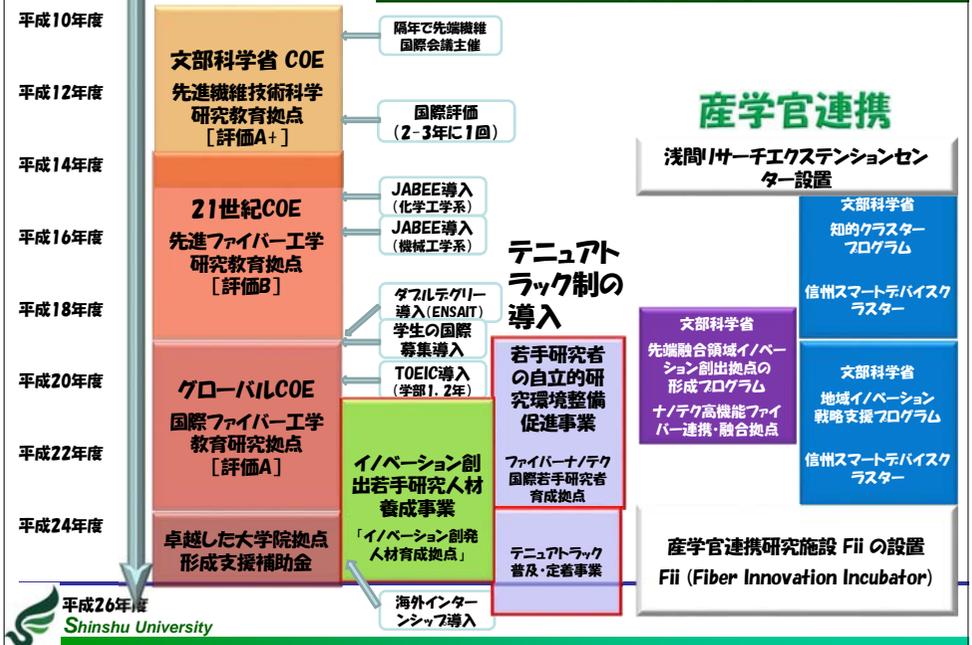


旧サークル棟
H26取り壊し予定

機能高分子学棟
H26改修予定

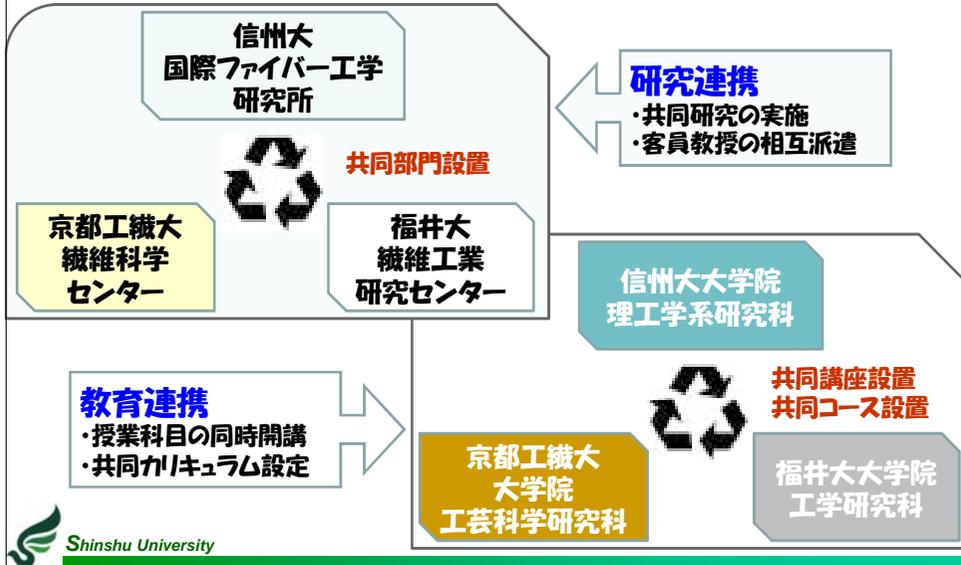
教育・研究

教育研究体制の改革



繊維系大学教育研究連携

信州大学－京都工芸繊維大学－福井大学のファイバー工学分野における教育研究連携について



繊維・ファイバー工学コース

信州大学大学院理工学系研究科
福井大学大学院工学研究科
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

- 学生・教員の相互乗り入れによる幅広いカリキュラム
- 国内外の大学・研究機関からエキスパートを招聘し、講義及び学生指導
- 日本繊維技術士センター、繊維関連企業から技術者を招聘し、実学の講義及び学生指導
- アカデミックインターンシップ
- 多角的な研究テーマに基づく学生の共同指導
- 学生の評価体制を構築

繊維・ファイバー工学コース・カリキュラム

基幹科目	繊維系合同研修	繊維系資格概論	アカデミック インターンシップ
	海外繊維・ファイバー 工学事情Ⅰ(欧米) ・Ⅱ(アジア)	繊維基礎科学 (英語版e-Learning科目)	
連携科目	信州大学	福井大学	京都工芸繊維大学
	繊維技術士特論 繊維材料学特論 ヤーンテック/ロジー特論 繊維製品快適性評価特論 衣服工学特論 感性計測特論 感性繊維化学特論 複合材料力学特論 機能化学特論Ⅰ 蚕利用学特論	繊維科学概論 材料力性 繊維・高分子材料工学 繊維・高分子加工工学 繊維・高分子材料ロジー特論 分子相互作用特論 界面コロイド化学 カラーレーション工学 生命機能工学 生体材料化学	テキスタイルサイエンスⅠ テキスタイルエンジニアリングⅢ テキスタイルエンジニアリングⅣ Kansei-Human設計 サステナビリティ設計 バイオベースポリマー バイオ機能材料 バイオカラーサイエンス 生物資源システム工学 バイオナノファイバー

繊維・ファイバー工学コース授業風景



合同研修



海外繊維・ファイバー工学事情



アカデミック
インターンシップ

文部科学省博士課程教育リーディングプログラム(オンリーワン型) ファイバーネットワークを先導する国際人材養成

国内連携大学・研究機関

プログラム担当者所属大学等:
東京大学、東京工業大学、東京農工大学、名古屋大学、福井大学、京都大学、京都工芸繊維大学、奈良女子大学、神戸大学、産業技術総合研究所、JAXA

講義担当・研究指導・学位審査等

海外連携大学・研究機関

欧州繊維系大学連合(AUTEX)所属大学等
プログラム担当者所属大学:
米:ノースカロライナ州立大学、英:マンチェスター大学、仏:ENSAIT、独:ドレスデン工科大学、澳:ウイーン天然資源大学、中:香港理工大学、蘇州大学、印:インド工科大学、新:シンガポール国立大学

講義担当・研究指導・海外インターンシップ受入等

信州大学

国際ファイバー工学教育研究拠点
総合工学系研究科
理工学系研究科
国際ファイバー工学研究所

産学官連携機関

経済産業省製造産業局繊維課、日本化学繊維協会、日本紡織協会、日本染色協会、日本不織布協会、炭素繊維協会、日本繊維技術センター、繊維学会

外部審査・キャリア教育支援等

国内外連携企業

長期インターンシップ実績のある繊維系企業
倉敷紡績(株)、(株)クラレ、シキボウ(株)、大和紡工業有限公司(中国蘇州)、帝人(株)、東洋紡(株)

長期インターンシップ・キャリア教育支援等

博士課程教育リーディングプログラム(オンリーワン型) 教育システムの特徴

- 日本国内で繊維に関する教育者が激減している現状を踏まえ、各大学や産業界に点在する研究者を集結し、繊維に関する総合的な教育を施す
- 博士前期課程(修士課程)においては
 - 欧州繊維系大学連合(AUTEX)が企画する博士前期課程プログラムへ参加し、1セメスターを欧州の大学で受講する機会を設ける
 - 世界的にも評価の高いe-learningコンテンツ(米:ノースカロライナ州立大学、中:香港理工大学など)を導入し、遠隔講義に対応する
 - 国内の大学、産業界から繊維系の研究者を集結し、授業を行う
 - 博士前期課程全員が集まる合宿を行い、マナー研修、一般教養、グループ討議、研究発表、などを毎年行う
 - 研究室ローテーション(国内外他大学も含む)を行う
- 博士後期課程(博士課程)においては
 - 毎年、学生全員の合宿を行い、研究発表、グループ討議、基礎学力試験等を行う
 - 学位審査に関して、海外審査委員、産業界からの審査委員を含む組織で行う
 - 国内外企業等への長期インターンシップを課す

博士課程教育リーディングプログラム(オンリーワン型) 履修プログラムの特徴

国際募集

●進級試験(基礎学力・システムティックレビュー)・海外審査委員、産業界審査委員を含む
●必修科目・海外での単位取得・合宿・海外招聘教員による講義・研究室ローテーション・e-learning
●厳格な評価システムの導入
●専攻指導体制
●英語能力の向上

博士前期課程
(修士課程)

●学位取得…英語による論文執筆(海外審査委員、産業界審査委員を含む)
●国内外への長期インターンシップを必修
●毎年研究の進捗状況の把握…合宿によるグループ討議
●厳格な評価システムの導入

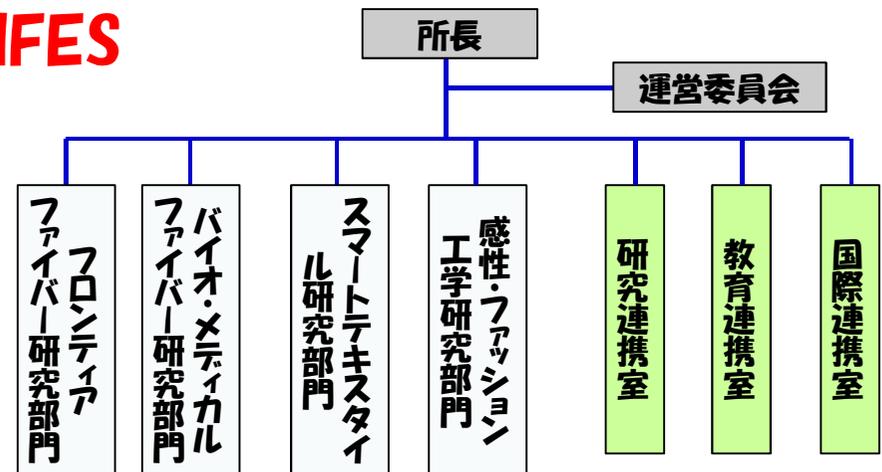
博士後期課程
(博士課程)

ファイバーネットワークを先導する国際人として活躍

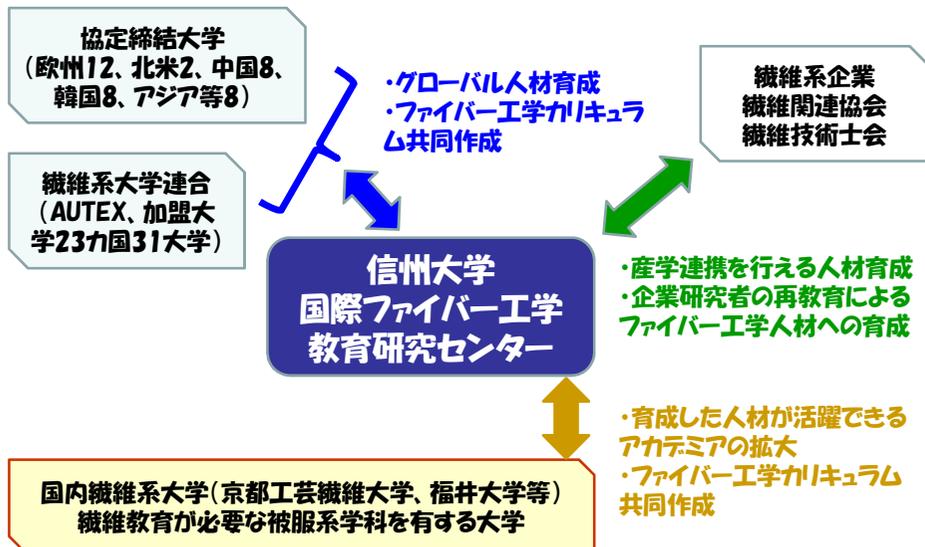
先鋭領域融合研究群の一組織として

国際ファイバー工学研究所
Institute for Fiber Engineering, Shinshu University

IFES



信州大学国際ファイバー工学研究所



繊維学部学生相談室

大学生活への対応

大学での勉学・生活

- ・生活環境の変化
- ・自ら選択
- ・時間的枠組みの変化
- ・勉強の仕方や内容の変化
- ・経済的問題
- ・飲酒や喫煙の機会



対応できない学生

- ・学業不振
- ・進路変更
- ・不登校
- ・精神的病気
- ・自殺

繊維学部学生相談室

学生相談を円滑に実施し、これにより学生生活を支援する。複数のチャンネルを用いて相談できる体制となっている。

「何でも相談室」(総合的な相談窓口)

ホームページ・電子メール・電話による総合的相談窓口。相談室員により対応

「チューター面談」(課程教員による相談窓口)

実施時期：1年生(随時実施)、2・3年生(各学期初め)、4年生(年度初め)
問題を抱える学生の早期発見と適切な対応(カウンセリング・ハラスメント相談)

「学部長 大相談会」(学部長による相談窓口)

学部長が直接、個人またはグループと懇談。
学部の教育、学生生活、進路、友人関係などの相談

「ガイダンス・講演会」(精神的・身体的健康、ハラスメントに関する教育・啓発活動)

年度初めのガイダンスにおける指導、随時講演会の開催

「何でも相談室」

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/introduction/>

繊維学部何でも相談室

検索

1年生からの相談も受け付けています!

キャンパスをもっとすきな場所に 繊維学部 学生何でも相談室

はじめに

繊維学部は、「学生何でも相談室」を開設しています。この相談窓口には、大学生活の中の疑問、不安、悩み、困ったことが起きたとき、その他さまざまなこと、あなたの気持ちや立場によって相談に応じ、解決へ導くための相談窓口です。気軽にお問い合わせください。

“何でも”相談できます

学校生活や人間関係の悩み
「友人関係が上手くいかない」
「家庭でトラブルを抱えている」
「恋愛関係の悩みや悩みを抱えている」
等々人間関係に関する相談。

学業や進路の悩み
「このままでは卒業できない」
「学業進捗が心配な気がする」
といった、学業、進路、卒業、就職に関する悩みも気軽に相談ください。

経済面の問題
授業料の免除、奨学金などの制度に関することなど経済面での相談。

“専門職員”への橋渡しをします

学生何でも相談室では、「カウンセラー」「ハラスメント相談員」等、専門職員への橋渡しも行っています。以下、専門職員を紹介いたします。プロフェッショナルに導かれていきますので、お気軽にご相談ください。

カウンセラーによるカウンセリング

心理的な悩みなどに関しては、カウンセラーによるカウンセリングを受け付けることができます。希望に応じて、相談に乗せていただきますので、お気軽にご相談ください。

また、カウンセリングについては、保健室、学務課窓口で直接申し込むこともできます。

学部長 春の大相談会

繊維学部では、学生の皆さんよりよい学生生活をお送りいただくため学部長と学生の懇話会を年に数回開催しています。学生みなさんの言葉、意見をお寄せいただければと思います。なお、申し込みはホームページ、メール及び学務課窓口で行うことができます。

今年第1回目と4月21日(月)に開催します。詳細は種々のホームページでお知らせいたします。

- ・進学、就職に関する相談
- ・土曜キャンパスの施設に関する質問
- ・学部長とおしゃべりしてみたい

※内容は何でも相談ですので、ふるってご参加ください。

学部長のコメント

皆さんは卒業し悩んでいること、疑問に思っていることなどありませんか。学生生活の中で、いろいろな出来事にあふれると思います。そのときに一人で考え込まずに気軽に相談室に相談してください。

また、年に数回(学部長)と話す機会を設けております。会話の中から生まれることもたくさんあると思います。皆さんの声からお話しできればと思っていますので、悩みや疑問があるなにかかわらずご参加下さい。

ホームぺージから相談することができます

「相談したいことがあるけど、電話と比べて話すのはちょっと…」と思う方もいらっしゃると思います。何でも相談室には、ホームページのメールフォームから相談することもできます。また、専用メールアドレスも用意しておりますので、気軽なことでお気兼ねなく相談ください。

ホームページ： <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/introduction/>
 メールアドレス： texsodan@shinshu-u.ac.jp (在学生の方：繊維学部何でも相談室)



ホームページからの相談の流れ

“専門職員”への橋渡しをします

ハラスメント相談員への相談

アカデミックハラスメント(アカハラ)、パワーハラスメント(パワーハラ)、セクシャルハラスメント(セクハラ)などハラスメント被害の相談は、専門の資格を受けたハラスメント相談員が担当します。

内容に応じて、教職員が対応します

その他、質問の内容に応じて、教員、保健室、学務係職員等が対応いたします。

チューター面談

繊維学部では、学生一人一人にチューター教員を配属し、定期的な面談を行うことで、よりよい大学生活を送れるようサポートしています。

毎年2回面談の機会を設けています。面談を行う時間帯、定額制の面談を行うことで、よりよい面談を受けることができます。

平成26年度の面談について
 平成26年度の面談も、4月(学期)10月に実施します。下記に当たって、必ずホームページに申し込み、面談を受け付けてください。

Shinshu University

繊維・ファイバー工学を基軸に
世界に羽ばたく人材の創出を
目指して

Shinshu University

メールアドレス情報登録について(依頼)

電子メールによる情報の受発信が行える仕組みを充実することを目指しております。
 ご登録いただいたメールアドレスには、以下のような情報をお送りする予定です。

1. 緊急災害時における大学情報の連絡
2. 緊急災害時における帰省している在学生やご家族の安否確認の問い合わせ
3. 繊維学部で行われるイベント情報の案内
4. 繊維学部の活動状況の紹介
5. その他

Shinshu University

千曲会への入会について(依頼)

千曲会の役割

- 同窓会としての機能
卒業生の交流促進等を行うために100年以上活動
- 在学生支援会としての機能
在学生を支援するための機能が大きくなりました
 1. 在学環境改善のための支援
 2. 就職活動のための支援
 3. 課外活動のための支援
 4. 研究発表のための支援 など

入学生全員の加入を学部からもお願いしております

ホームカミングデイ

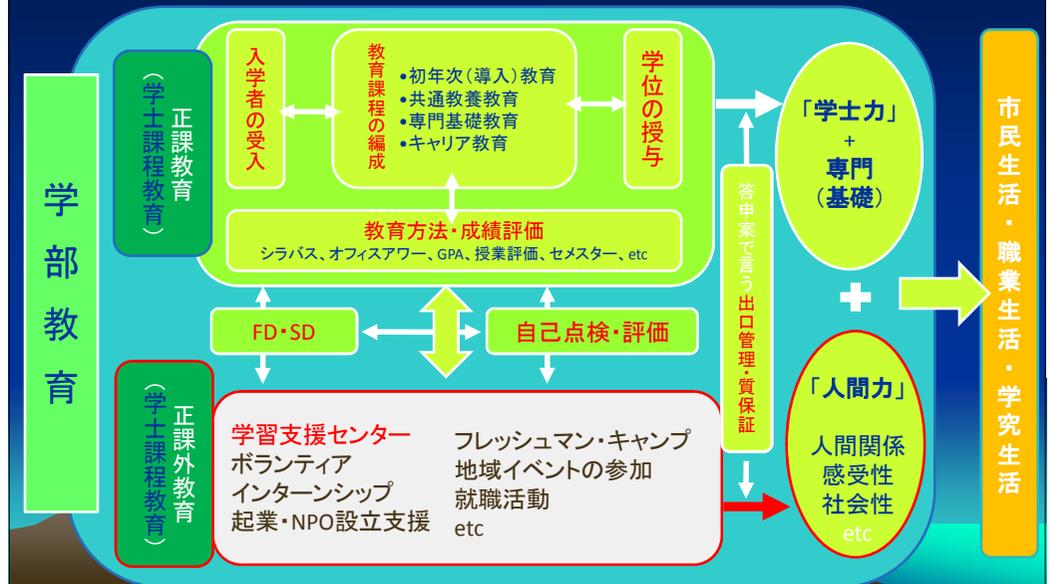
開催日：平成26年10月11日(土)
開催場所：上田キャンパス



信州大学 繊維学部の 英語教育について

平林 公男
繊維学部 教務委員長
繊維学部 国際交流室

学部教育と学士課程教育 (中央教育審議会答申概要)



信州大学の中期目標・中期計画の関連事項

1. 公正で厳格な成績評価方法を検討し、実現するシステムを構築する
2. 成績評価基準を明確にし、その一貫性、厳格性、透明性を確保する
3. 学習意欲を高める方策を検討し、実現に必要な体制整備を行う
4. 成績評価基準を授業目標の達成度に統一した上で、・・・
5. e-Learning システムの積極的活用による自主学習の環境整備を推進する
6. 国際的な言語能力をもつ人材養成のため、外国語による講義科目を開講する
7. 国際的に通用するプレゼンテーション能力を高める教育

繊維学部学生に身につけさせたい 英語力

- * 繊維学部の卒業生のほとんどが理工系の企業に就職し、生産、開発、研究の第一線で仕事をします。
- * 急速に加速するグローバル化の中で企業が生き残るためには、諸外国との取引拡大、諸外国の技術情報収集が不可欠であり、学生に必要な英語力をつけ社会へ送り出すことは、本学部の重要な責務であると考えています。
- * 現在、グローバルな商取引、情報収集のほとんどがインターネットに依存しており、「インターネットを駆使できる技術者」という視点から英語の4スキル読、書、聴、話の必要優先度を考えなければならない状況にあります。

* 工学系出身者が企業で求められる4スキルの順位は「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」です。

1. **読む能力**: ウェブ上の大量の情報を速く正確に読み、要点を把握する能力
2. **書く能力**: 簡単な文で正確に自分の考えをe-mail等で伝える能力
3. **聴く能力**: 普通の速さで話される内容を理解できる能力
4. **話す能力**: スローでも自分の考えを正確に伝える話す能力

学部英語カリキュラムの構成



大学院 英語課目		
4年	専門英語Ⅱ	Writing
3年	専門英語Ⅰ	Debate/Negotiation
2年	アカデミック英語Ⅱ(中、上)	
1年	アカデミック英語Ⅰ(初、中、上)	

書
話
聴・読
聴・読

英語による
専門科目

授業(1h): 自学(2h)

TOEICで達成度を測る

プログラムの運営・支援体制
特任プログラムディレクター
アシスタント英語インストラクター
e-Learning学習支援システムコーディネーター

1、2年: 自学(e-learningを利用した
自学の習慣付け)

- 繊維学部はこの点を踏まえ、1、2年次の英語教育を受信能力「読む」、「聴く」の強化・向上に位置づけています。順序が前項の優先順位と異なりますが、発信能力「書く」、「話す」の修得には受信能力が不可欠です。
- 繊維学部はTOEICをバックボーンとする英語教育プログラムにより、英語力向上を支援し、国際的に活躍できる人材を育成します。

TOEICテストとは

- Test of English for International Communication
- 多くの企業が社員の英語力判断に使っている国際的な実用英語の標準テスト。
- 社員全員に受験を義務づけ、配属、海外派遣等の参考資料に使う企業が増えている。
- TOEICは日本だけではなく、世界各国(約70カ国)で実施されているため、留学の際にも役立つ。
- リスニング、リーディング併せて990点満点
- 入学時に5回分の受験料をいただいています。

(TOEIC-Bridge 1回分、TOEIC-IP 4回分)

全国の大学生の平均点: **435点**

理・工・農学系(2007年度データ; N = 67627人) **396点**

企業が求める部門・分野別点数:

- 新入社員(550-450点)、海外部門(800-600点)、
- 営業部門(750-550点)、技術部門(700-500点)

* 600点を超えると英語力がプロフェッショナルと見なされることがわかる。

外部評価基準TOEICによる英語力評価

1、2年次生全員がTOEIC受験(毎学期)

- 企業が使う英語力判定テストなので → 学習モチベーションが向上
- 信頼度の高いテストなので → 教育の実効性の評価、問題把握が容易
- 世界的なテストなので → グローバル基準による達成度評価と質保証
海外への留学候補者の掘り起こし

TOEIC-IPを全学規模で実施している国立大学法人

全学部で実施している大学

熊本大学, 山口大学, 鳥取大学, 広島大学, 徳島大学, 岡山大学,
名古屋工業大学, 愛知教育大学, 岐阜大学, 静岡大学, 東京工業大学,
東京外国語大学, お茶の水大学, 東京海洋大学, 千葉大学, 埼玉大学,
宇都宮大学, 新潟大学, 山形大学 ほか。

ほぼ全学部で実施している大学

香川大学, 島根大学, 三重大学 ほか。

TOEFL-ITPを全学規模で実施している国立大学法人

北海道大学, 東北大学, 岩手大学, 東京医科歯科大学, 一橋大学,
東京大学, 横浜国立大学, 名古屋大学, 九州大学 ほか。

「学生にもとめる英語の能力」 (目標値)

- 卒業時**TOEIC550点**以上を求めたい。
目標は**600点達成**(就職の際、大変有利)
650点を超えると、海外の大学、大学院への留学の道が開ける。

計画(半年で**25点レベルup**)

入学時(400点:大学生の全国平均:理系)

1年生 前期425点 後期450点

2年生 前期475点 後期500点

3年生 前期525点 後期550点

卒業時 575~600点

- 学習支援体制が整備され次第、卒業要件として450点を設定したい。

これから受けるTOEIC試験

- TOEIC Bridgeテスト(入学式前 4月3日)英語力チェック→クラス分け
(木曜日 4月7日昼頃までにクラスを掲示:掲示を注目)
- 1年**6月21日** TOEIC IPテスト(1回目) 英語力チェック①(松本)
- 1年**12月6日** TOEIC IPテスト(2回目) 英語力チェック②(松本)
- 2年6月 TOEIC IPテスト(3回目) 英語力チェック③(上田)
- 2年12月 TOEIC IPテスト(4回目) 英語力チェック④(上田)
- 3年、4年 自主的に受験
- **繊維学部がOfficial TOEIC受験会場**(TOEICテスト 年4回)

週1,2回の授業では決して英語力はつきません。
自学自習が大切！！

e-learning systemを利用(入門、初級、中級、英単語)

信州大学英語e-learningシステム ALC Net Academy2

- ・世界のどこからでもインターネット経由で利用できる。
- ・ゲーム感覚で楽しみながら学習できる。
- ・自分のレベルにあった教材を選んで勉強できる。
- ・テストの結果がすぐにわかる(レベルの向上をチェックできる)。
- ・自分のペースで勉強できる。
- ・TOEIC受験が考慮された教材が用意されている。
(学習進度のモニタリングを行っています。)

TOEICテストのスコアを指標に1年間がんばって下さい

- ・1年間に延びた学生:全体の66% 335点→595点
- ・1年間に落ちた学生:全体の33% 415点→215点

e-learning systemの利用(入門、初級、中級、英単語)

- ・使用法については、4月中にTOEIC-Bridgeテストの結果と共に、英語の授業時間に「利用ガイド」を配布しますので、それを見て下さい。

自学自習が大事(習慣をつけよう)

(TOEIC高得点者は、海外留学や大学院の英語入学試験などで大きなメリットがあります)

学部長表彰



信州大学繊維学部 同窓会 「一般社団法人 千曲会」



同窓生の**絆**は、母校と在學生を支え、ビジネスチャンスをもたらし、国にはたらき掛け、母校の発展を促す



説明の概要

- 大学同窓会の役割
- 同窓会/千曲会の歴史・学部・学生との関係
- 千曲会のサービス・つきあい方

繊維学部同窓会「千曲会」

- 目的：
 - ① 繊維学部における教育と研究の支援
 - ② 在学生の支援
 - ③ 会員間の交流
- 発足：1915年（第2回生卒業時）
- 会員数：約14500人
- 支会：全国に35支会



千曲会の主な事業

● 在学生支援

- ・学費支援
- ・就職活動支援
- ・学部祭「東雲祭」の支援

同窓生の「絆」を大切に
在学生・卒業生・学部を
総力で支援します

● 会員交流支援

- ・ホームカミングデー共催
- ・クラス会支援
- ・支会活動支援

● 情報の発信

- ・「千曲会報」の定期発行
- ・HPでの情報発信

● 学部支援

- ・オープンキャンパスの支援
- ・国際会議、学術講演会の支援



同窓生の「絆」は一生の財産

● 就職活動支援・同窓生の人材派遣

在学生への支援

在学生 千曲会



同窓生（企業重役）による
「就職のための講演会」
（講師派遣）



卒業生による研究指導

● 学生活動支援

在学生への支援

在学生 千曲会



研究活動支援



学生自主活動への支援
（ソーラーカーレース）



学部祭「東雲祭」
への助成

● 情報の発信

保護者の皆様へ

保護者 千曲会



学部の今、学生の活動、
同窓生の活躍、クラス
会、先生の随筆、など

ダイジェスト版
はこちらで！

社団法人千曲会
〒386-0018
長野県上田市栗田3丁目8-37
TEL 0268-22-4465

1911

● 千曲会ホームページ

● 「千曲会報」第304号

<http://www.chikumakai.org/>

● 会員の交流支援と相互互助

会員の交流支援と互助

卒業生

千曲会

会員の相互互助

東日本大震災義援金納入者

平成29年9月18日に発生した東日本大震災に際して、会員の皆様から義援金をいただきました。5月31日までに次の方々からご寄付をいただきました。ここに名前を掲載して、感謝を表します。

多田 晴彦 義化 8	前田 洋一 学化 28	中村 知義 特 26
関本 正広 学化 4	中山 晋市 化工 7	中山 晋市 化工 7
関本 正広 学化 4	武井 謙三 学化 35	藤川 愛一 特 27
中野 正広 学化 26	尾花 金三 学化 3	小林 義昭 化 7
小山 隆幸 特 26	渡辺 孝男 学化 20	小林 清明 学化 30
西澤 芳智 学化 2	浅木 美次 学化 11	香山 博 学化 13
中谷 敏文 特 14	矢田 雅大 特 17	今西 晃久 学化 17
伊合 健二 学化 35	藤井 美穂 学化 21	夏目 健一 学化 15
岡田 幸化 9	上野 昌彦 学化 2	柳沢 謙一 学化 13
栗田 健男 特 2	大野 正高 化 9	手塚 雅彦 化 5
鈴木 望 学化 9	越中 誠三 学化 27	中村 孝志 学化 13
小田中 友夫 特 22	外山 二 学化 15	津山 昭彦 学化 5
高野 映夫 特 5	高田 徳志夫 学化 25	山岸 祥太郎 学化 13
藤方 邦夫 学化 11	井関 美穂 学化 13	栗田 博 特 21
藤野 本太郎 学化 5	藤見 俊隆 学化 10	渡邊 真澄 学化 13
金子 隆一 学化 4	鈴木 正一 学化 22	小野 隆一 化 6
尾野 明 学化 36	小水 幸 学化 5	三石 賢 化 9
中野 公美 化 7	北野 昌哉 特 18	小林 富雄 学化 1
中野 孝夫 学化 5	中野 憲之 学化 35	古藤 泰 学化 6
三井 尚敏 学化 2	田村 博 学化 9	森島 次夫 学化 4
池田 達男 特 29	石川 英典 学化 4	中込 謙夫 学化 16
近藤 真吾 特 16	大野 明二 学化 4	土屋 松寿 学化 2
高島 裕元 化 7	西野 善一 学化 19	藤島 千寿 学化 5
樋口 邦夫 特 22	武 正和 学化 36	名取 大 学化 25
山口 邦夫 学化 2	小嶋 幸雄 化 3	新藤 久 学化 3
西田 正徳 学化 11	藤田 幸美 学化 18	山崎 敏之 学化 12
野山 栄史 特 19	藤崎 弘美 学化 16	藤原 孝 学化 3
宮澤 幸彦 学化 36	中津 賢 学化 8	山田 保 学化 13
小野 直樹 特 23	山田 順久 学化 10	松本 隆子 学化 8
		具原 智之 学化 8
		信吉 特 学化 18



支会での会員交流

同窓生の交流、同・異業種の交流、
学部教員も参加して盛大に！

東日本大震災で届けられた
会員から会員への多くの義援金

● 学部施設の保存と拡充への支援

繊維学部の伝統の継承 と未来のために

繊維学部

千曲会

開校記念祝賀 (旧本館)



Fii 棟
(創立100周年記念事業)

繊維学部講堂
(登録有形文化財)



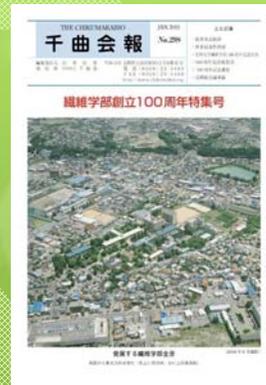
創立10周年記念事業
(来賓を案内する針塚初代校長)

● 同窓会誌「千曲会報」の発行・発送

卒業生の交流支援

卒業生

千曲会



「千曲会報」
年2回発行



支会情報

学部情報



● 学部のイベントへの支援

繊維学部の教育と 研究の充実のために

繊維学部

千曲会



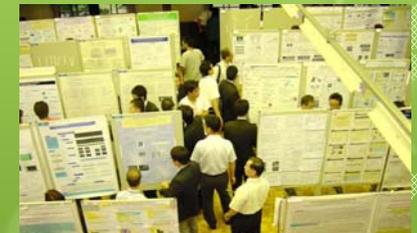
サイエンス パートナーシップ プログラム



若手研究者交流
国際シンポジウム



オープンキャンパス
(模擬講義)



繊維学部で開催された
国際会議

同窓会館「千曲会館」

千曲会

宿泊室

- 和室18畳 1室
- シングル 3室
- ツインBT 1室
- シャワールーム
- 大会議室 120人
- 中会議室 30人



千曲会館はココ



繊維学部キャンパスマップ



会館ロビーホール
シングルルーム

長期宿泊利用の場合、
40%までの割引制度あります。

ご清聴、 ありがとうございました。

千曲会



上田城址公園の枝垂れ桜

「千曲会」入会のお願い

千曲会が行う同窓会事業は、
全て会員の皆様の会費で行われています。

在学時から同窓会とつながっていただくため、
入学時に学生会員として入会をお願いします。

学生会員入会方法

- ・会費の納入をもって入会手続きを行います。

入学时会費割引制度

- ・年会費20回分を前納いただきますと、30%割引いたします。

